

Monthly Report

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2017年10月31日基準

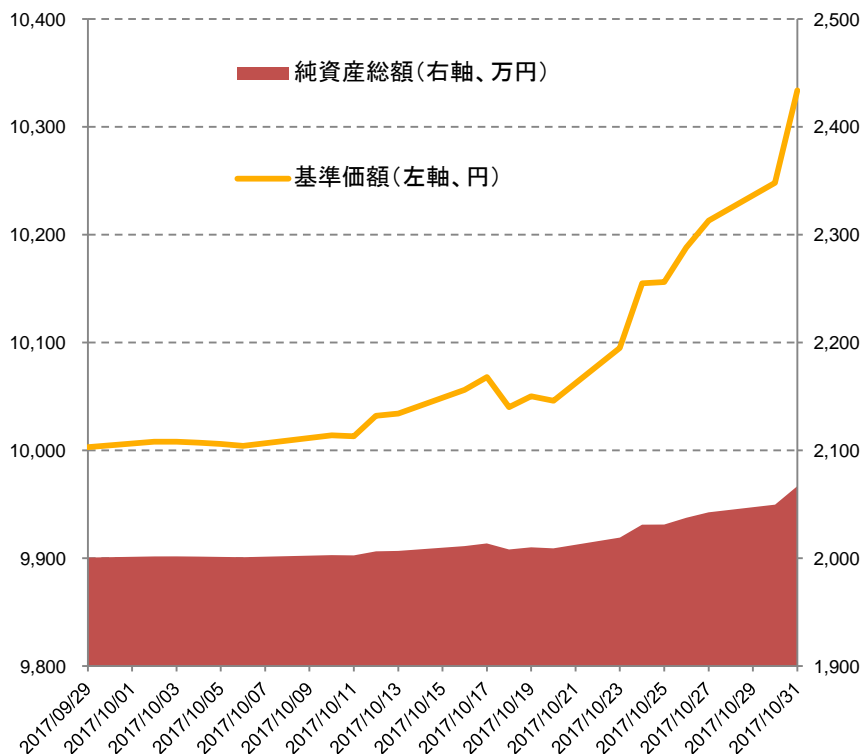
ファンドの概要

設 定 日	2017年9月29日
決 算 日	毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日)
信 託 期 間	無期限
収 益 分 配	毎期、決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

ファンドの特色・投資方針

- 1 わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
- 2 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
- 3 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
- 4 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

パフォーマンス



基準価額	10,334円
前月末比	+331円
純資産総額	2,066万円

資産構成	
株式	62.1%
その他	37.9%

期間別騰落率(%)					
1M	3M	6M	1Y	3Y	設定来
3.31					3.34

分配金	
	円
設定来	円

ポートフォリオ

純資産総額に対する組入比率上位10銘柄(全23銘柄)				市場別		
1	萩原工業(7856)	その他製品	2.86%	合成樹脂繊維製品などの製造・販売(ブルーシートのトップメーカー)	東証一部	39.3%
2	シグマ光機(7713)	精密機器	2.63%	研究開発から生産設備までのレーザー用要素部品をはじめ、レーザー用ユニット製品の開発・生産・販売	東証二部	8.1%
3	日本コンセプト(9386)	倉庫・運輸関連業	2.45%	タンクコンテナを用いた液体化学品、液化ガスに関する国際複合一貫輸送	マザーズ	1.6%
4	綜研化学(4972)	化学	2.39%	アクリル系粘着剤、機能性高分子、有機微粒子、粘着テープなどのケミカル製品の製造・販売	その他	13.1%
5	IDEC(6652)	電気機器	2.31%	制御機器製品、制御装置およびFAシステム製品、防爆・防災機器の製造メーカー	合計	62.1%
6	日精樹脂工業(6293)	機械	2.19%	プラスチックの射出成形機を中心に扱うメーカー	業種別上位	
7	ニッピ(7932)	その他製品	2.08%	コラーゲン・ケーシング・ゼラチン、化粧品、皮革関連商品等の製造・販売	化学	10.5%
8	カーリットホールディングス(4275)	化学	2.05%	医薬・化学品、ボトリング、産業用部材等の製造・販売(2018年創業100周年)	電気機器	9.5%
9	三機サービス(6044)	サービス業	2.01%	ビル・店舗・施設内の空調機器・電気・厨房・給排水衛生設備などの設計施工保守管理メンテナンス	その他製品	8.7%
10	チノー(6850)	電気機器	1.94%	温度計測、センサおよび試験装置の製品とサービス提供	機械	7.1%
					サービス業	5.2%

コメント

<運用状況>

10月の株式相場は月初、良好な経済指標を受けた米国株の過去最高値更新や円安進行を好感し、日経平均株価は年初来高値を更新しました。その後も堅調な世界景気や企業業績を背景に海外投資家の買いが継続し、16営業日連騰(10/2~24)と史上最長の連続記録を更新し、1996年以来21年ぶりの高値を付けました。25日は反落したものの、投資家の押し目買い意欲が強く、月末にかけて再び高値を更新しました。新興市場を含む中小型株市場においては堅調に推移したものの、投資家の関心が東証1部の主力銘柄などに向かい、上昇率は大型株に比べて見劣る動きとなりました。当ファンドの主要投資対象の当月の騰落率(前月末比)は、中小型株指数+5.3%、小型株指数+4.4%、東証2部指数+3.4%、日経ジャスダック平均+3.3%、東証マザーズ指数+3.7%となりました。

当ファンドは9月29日に当社自己資金2,000万円の設定で運用をスタートしました。ポートフォリオ構築におきましては、設定日以降、日経平均株価の記録的な連騰(過去最長)で市場全体が上昇基調をたどる中、割安銘柄や成長が見込める銘柄などへの投資をコツコツと行いました。組入銘柄については自己保有株式が多く高利回りで割安な銘柄や業績進捗率の比較的高い銘柄などへの投資を中心に行う一方、業績の上方修正や株式分割発表で株価が急伸した銘柄を売却するなど実現益の確保にも努めました。なお、10月以降の決算発表シーズンでは業績のブレ(上方・下方)=株価動向に大きく影響することから、個別銘柄の決算内容を注意深く見ながら組入れは慎重に行い、10月末の株式組入比率を62.1%としました。

<今後の運用方針>

株式相場は企業的好決算に加え、衆院選での与党勝利で政権安定が評価され、海外投資家の買いが相場をけん引しています。また、足元の相場上昇で先高観が強まり、売買代金が膨らむなど市場の厚みが増し堅調な展開を想定しています。主要市場との比較感や業績見通しの増額修正で株価収益率などバリュエーション面では割高感は見られないものの、連騰記録を更新するなど株価の上昇ペースが速く短期的な過熱感から調整する場面も予想されます。ただ、調整局面では相場の上昇で利益確定売りを出してきた個人投資家の豊富な待機資金や日銀の上場投信信託(ETF)の買いなどが下支え役となりそうです。

世界的な景気回復を背景に輸出関連株など東証1部の主力大型株が主導する一方、中小型株を含む新興市場はやや上値の重い動きとなっています。相場全体は10月に入ってから一本調子の株高が続く高値警戒感が強まっていることや決算発表で株価が大きく変動する時期であることから、投資環境や業績動向などを見極めたいと考えています。今後、大型株の買い一巡感で指数が伸び悩む場面では好決算銘柄やテーマ性のある中小型銘柄などが個別に物色される展開も予想されます。今後の運用につきましては、引き続き、個別銘柄をコツコツと買い付け、ポートフォリオの構築を行ってまいります。銘柄選別にあたっては企業の割安・変化・成長の投資視点のもと、パフォーマンスに大きく貢献してくれる銘柄の発掘に努めてまいります。受益者様に安心、信頼、喜ばれるパフォーマンスを残すべく運用して参りますので、何卒ご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ① 株価変動リスク... 株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② 金利変動リスク... 金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ 信用リスク... 公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。
- ④ 流動性リスク... 有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ 投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥ 運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購入時手数料	取得申込受付日の基準価額に、3.24%(税抜3.00%)の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません
信託財産留保額	ありません

信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率0.864%(税抜0.80%)。 (配分(各税込): 委託者0.4158%・販売会社0.4158%・受託者0.0324%)
その他の費用 ・ 手数料	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。) 有価証券売買時の売買委託手数料等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは交付目論見書をお読みください。

<投資信託に関する留意事項>

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

Monthly Report

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2017年10月31日基準

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

委託者、その他関係法人

委託者	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 商品投資顧問業(農経(2)第19号) 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本商品投資顧問業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)
受託者	株式会社りそな銀行(再信託: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)
販売会社	(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

販売会社一覧(2017年10月末現在)

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
TORANOTEC投信投資顧問株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		○	○	

<ファンドに関する照会先>

ホームページ <http://www.toranotecasset.com>

電話番号 03-6432-0782(受付時間: 営業日の9時~17時)